

令和3年度 印西市家庭教育学級だより

かてきょう通信

9月号

NO.6

「子育ては、自分育て」～家庭・地域の絆のために～

2学期がはじまりました



夏休みが終わり、いよいよ2学期のスタートです。コロナ禍での東京オリンピック・パラリンピックは、様々な考え方があり、また、緊急事態宣言の延長が発出されるなど、厳しい環境の中での開催となりました。しかし、一方、多くのアスリートたちから、たくさんの感動を与えてもらいました。これからの時代を生きていく子どもたちに、何かを伝え、そして、より良い影響を与えてくれたと信じています。

さて、家庭教育学級の開催について、委員の皆様、教頭先生、ご協力ありがとうございます。1学期に、様々な講座を開催していただいている学校からは、「楽しかった」「ためになった」との感想を頂いています。しかし、この8月から9月にかけて、大きな感染拡大となり、非常事態宣言も再度発出されています。講座開催については、感染状況や学校の状況を踏まえ、教頭先生（主事）とよく相談の上、無理のないようにご判断ください。状況によっては残念ながら中止となってもやむを得ないと思います。

◆子育てのポイントを紹介します◆

1. 乳児は しっかり 肌を離すな。
2. 幼児は 肌を離せ。手を離すな。
3. 少年は 手を離せ。目を離すな。
4. 青年は 目を離せ。心を離すな。

「子育ての四訓」として、伝えられている言葉です。出典は諸説あるようですが、意味はほぼ同様なものです。

子どもの成長に合わせて、離すべきものと離してはいけないものがあるのですね。

子育ての極意であり、同時に親の愛情の姿でもある言葉です。子どもとの関わり方を振り返ってみましょう。

◇お問い合わせ◇

印西市教育委員会
教育部生涯学習課 推進係（担当 鳩・海老原）
【電話】 0476-33-4713
【FAX】 0476-42-0033

